

## <別紙>

### ニトロフランとは

フラン系の合成抗菌剤の総称であり、ニトロフラゾン、ニフルスチレン酸ナトリウム、フラゾリドン、ジフラゾン等がある。

日本においても動物用の医薬品としてウシ、トリ、ブタ等に使用されていたが、発がん性が疑われたため、現在では使用を観賞魚等に限定している。

特に毒性の強いフラゾリドン等の使用は、日本では禁止されている。

#### 例) フラゾリドン (F Z)

ニトロフラン系の代表的化合物。下痢の治療薬として有効性の高い動物用の医薬品として用いられていた。ニトロフラン系は発がん性の疑いがあるので各国とも使用を強く規制している。この系の薬物をラットに高用量を連続投与すると、体内のエストロゲンの分泌量を高め、乳ガンを発生させるらしい。

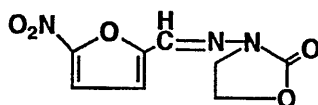
一般名：Furazolidone

化学名：3-[[ (5-Nitro-2-furanyl) methylene] amino]-2-oxazolidinone

化学式：C<sub>8</sub>H<sub>7</sub>N<sub>3</sub>O<sub>5</sub>

分子量：225.16

構造式：



性状：黄色の結晶性粉末で、においはない。ジメチルホルムアミドにやや溶けにくく、水、エタノールまたは四塩化炭素に極めて溶けにくい。